

新闻摘要

(2016 年 6 月 1 日～11 月 30 日)



6 月 13 日 (星期一)

厚生労働省公布，遺華日本人一行 10 人（遺華日本人 10 人，护理人 9 人）の集体暂时回国日程是从 6 月 14 日（星期二）到 6 月 25 日（星期六），共 12 天。委托公益財団法人《中国残留孤儿援护基金》实施。厚生労働省从平成 6 年（1994 年）开始实施中国遺華日本人的集体暂时回国活动，平成 5 年（1993 年）以前集体暂时回国是由民间团体负责实施的。

7 月 1 日 (星期五)

厚生労働省公布，遗留在库页岛的 16 名日本人（遗留日本人 16 人，护理人 16 人）の集体暂时回国日程是从 7 月 2 日（星期六）到 7 月 13 日（星期三），共计 12 天。委托特定非营利活动法人日本萨哈林协会负责实施。厚生労働省从平成 7 年（1995 年）开始实施库页岛的遗留日本人的集体暂时回国活动，平成 6（1994 年）以前集体暂时回国活动是由民间团体负责实施的。

8 月 5 日 (星期五)

厚生労働省公布要以战后出生的人为对象，培养向后代传达战前・战后的体验和艰辛、心境等的讲述人。讲述人的培养将委托给昭和馆，しょうけい館（战伤病者史料馆）以及首都圏中国帰国者支援・交流中心这三家设施。这三家设施将根据各自的宗旨培养讲述人。这次募集的研修生是以战后出生、希望把战争中・战后的艰辛传达给后世的人为选拔对象。选考由审查小论文以及面试。

研修从平成 28 年（2016 年）10 月开始每个月进行 1・2 次，第一年听取苦难体验以及学习作为讲述人的基础知识等等，第二年、第三年，作为讲述人通过实践活动提高水平。研修结束后，作为讲述人各个设施将计划安排讲述活动以及到中小学等地举办演讲。

ニュース記事から

(2016 年 6 月 1 日～11 月 30 日)

6 月 13 日 (月)

厚生労働省は、中国残留邦人の集団一時帰国 10 名（残留邦人 10 名、介護人 9 名）の日程が 6 月 14 日（火）から 6 月 25 日（土）までの 12 日間になったと発表した。公益財団法人中国残留孤儿援護基金に委託して行う。厚生労働省では、平成 6 年から中国残留邦人の集団一時帰国事業を実施しており、平成 5 年以前は民間団体等による集団一時帰国が行われていた。

7 月 1 日 (金)

厚生労働省は、樺太等残留邦人の集団一時帰国 16 名（残留邦人 16 名、介護人 16 名）の日程が 7 月 2 日（土）から 7 月 13 日（水）までの 12 日間になったと発表した。特定非営利活動法人日本サハリン協会に委託して行う。厚生労働省では、平成 7 年から樺太等残留邦人の集団一時帰国事業を実施しており、平成 6 年以前は民間団体等による集団一時帰国が行われていた。

8 月 5 日 (金)

厚生労働省は、戦後世代を対象に、戦前・戦後の体験と労苦、思いなどを次の世代に伝えていく語り部の育成を行うことを発表した。語り部の育成は、昭和館、しょうけい館及び首都圏中国帰国者支援・交流センターの 3 施設に委託し、各施設において、それぞれの趣旨に沿った語り部を育成する。今回募集する研修生は、戦後生まれで、戦中・戦後の労苦を次の世代に伝える意欲のある人が対象で、小論文による書面審査と面接を行い、選考する。

研修は、平成 28 年 10 月から毎月 1・2 回程度行い、1 年目は労苦体験の聞き取りや語り部としての基礎知識などの習得、2 年目、3 年目は、語り部としての実践活動を通じてスキルアップを図る。研修修了後、各施設から語り部として、講話や小中高等学校などでの講演といった活動に携わる予定である。



9月5日（星期一）

厚生労働省公布 12 名遺華日本人一行（遺華日本人 12 人、护理人 12 人）の集体暂时回国日程是从 9 月 6 日（星期二）到 9 月 17 日（星期六），共计 12 天。

9月23日（星期五）

厚生労働省公布 18 名库页岛等遗留日本人（遗留日本人 18 人、护理人 16 人）の集体暂时回国日程是从 9 月 25 日（星期日）到 10 月 5 日（星期三），共计 11 天。

9月26日（星期一）

NPO 法人中国帰国者・日中友好之会の理事長池田澄江女士(71)、中島幼八先生(74)等人作为召集人，于 10 月 2 日在江户东京博物馆（東京都墨田区）与回日本永住的帰国者们举行“遗華日本人问题论坛”。上午放映电影《望郷之鐘 満蒙开拓団の落日》，下午以《抚育敌国孩子的中国人养父母》为题举办讨论会。

10月5日（星期三）

“加深对遗華日本人的理解的集会 在千叶—你知道身边的“帰国者”吗？”，15 日在千叶市男女共同参画中心（千叶市中央区）举行。第一部介绍遗華日本人的历史和现状，1987 年永住回国的成田市在住的帰国者一代鈴木征英先生(75)。他讲述自身的经历，千叶市在住的帰国者一代的交流俱乐部为大家表演二胡和扇舞。第二部，放映长野县的帰国者二代，在初中做英语老师的大桥春美女士和她孩子的纪实片。大桥女士本人也登台讲述自己的心情，以及对于探索介于中日之间的人生的二・三代的思考。主办单位是首都圏中国帰国者支援・交流中心。入场免费。定员 200 人。

10月17日（星期一）

“了解中国・库页岛帰国者の集会”于 11 月 26 日、在かでる 2・7（札幌市）召开。这是北海道中国帰国者支援・交流中心为加深

9月5日（月）

厚生労働省は、中国残留邦人の集団一時帰国 12 名（残留邦人 12 名、介護人 12 名）の日程が 9 月 6 日（火）から 9 月 17 日（土）までの 12 日間になったと発表した。

9月23日（金）

厚生労働省は、樺太等残留邦人の集団一時帰国 18 名（残留邦人 18 名、介護人 16 名）の日程が 9 月 25 日（日）から 10 月 5 日（水）までの 11 日間になったと発表した。

9月26日（月）

NPO 法人中国帰国者・日中友好の会理事長 池田澄江さん(71)、中島幼八さん(74)らが呼びかけ人となり、日本に永住帰国した帰国者らが 10 月 2 日江戸東京博物館（東京都墨田区）で、「中国残留孤児問題フォーラム」を開催する。午前の部で映画「望郷の鐘 満蒙开拓団の落日」を上映し、午後の部で「敵国のこどもを育てた中国人養父母」のテーマでシンポジウムを行う。

10月5日（水）

「中国残留邦人について理解を深める集い in 千葉—あなたの隣にいる『帰国者』のこと知っていますか？」が 15 日千葉市男女共同参画センター（千葉市中央区）で開催される。第 1 部は中国残留邦人の歴史と現状についての紹介のほか、1987 年に永住帰国した成田市在住の帰国者 1 世、鈴木征英さん(75)が自身の体験を語り、千葉市在住の帰国者 1 世の交流グループによる二胡演奏と扇舞が披露される。第 2 部は長野県在住の帰国者 2 世で、中学校の英語教師、大橋春美さん親子を追ったドキュメンタリーが上映される。大橋さんも登場して、自らの思いを語り、日中のはざままで自分の生き方を模索する 2、3 世について考える。主催は首都圏中国帰国者支援・交流センター。入場無料。定員 200 人。

10月17日（月）

「中国・樺太帰国者を知る集い」が 11 月 26 日、かでる 2・7（札幌市）で開催される。北海道中国帰国者支援・交流センターが地域の人や若い世代に帰国者への理解を深めてもらうために実施する。第



当地的市民和年轻的世代对归国者的理解举办的活动。第一部题为“中国・库页岛归国者”的历史与现状，有体验的再生剧、归国者们的文艺表演、扭秧歌<大家一起跳>，第二部，由日语教室的学生举行日语学习发表会，入场免费。

① 请注意：本栏目的新闻皆为一般报章的报道摘要。因此，并非为政府正式公布之内容，其中一部分还包含媒体的观察消息，敬请注意。

1 部は『中国・樺太残留邦人』歴史と現状、体験再現劇、帰国者による文芸発表、大秧歌～みんなで踊ろう～、第 2 部は日本語教室の受講生による日本語学習発表会。入場無料。

① ご注意：本欄の内容は、すべて一般の新聞などで報道された内容を要約して掲載しているものです。したがって、政府が公式に発表したものではなく、一部には報道機関の観測記事なども含まれていますので、ご注意ください。